

○北海道技術者育成プラットフォームは「北海道道路メンテナンス会議」のご協力のもと、同会議の地方会議が主催し、道路の維持管理業務を担当する自治体職員を対象に開催している「道路メンテナンス講習会」へプラットフォーム会員の参加枠を令和5年度より提供いただいております。令和6年度は留萌地方、渡島・檜山地方、十勝地方で開催された講習会へ参加しました。

○5年の点検間隔を基本とし、定期点検2巡目を終える令和6年3月に各種道路構造物の定期点検要領が改訂されたことに伴い、本講習会では自治体が多く管理する道路橋の「要領改訂ポイント」を重点に座学と実際の現地橋梁にて講習を受けました。

▶令和6年8月20日(火) 留萌地方会議主催 開催地:留萌市 参加者:33名(うちPF会員 4名)



右:一般国道232号小楸子橋にて実際の橋梁点検結果と橋梁現況を照らし合わせて解説

▶令和6年9月26日(木) 十勝地方会議主催 開催地:豊頃町 参加者:25名(うちPF会員 4名)



右:一般国道38号 農野牛橋にて点検要領の改訂に基づく点検手法を解説

▶令和6年8月29日(木) 渡島・檜山地方会議主催  
開催地:木古内町 参加者:27名(うちPF会員 4名)



上:一般国道228号 木古内IC No.2ボックスカルバートにて  
現地調査に伴う留意点を中心に解説

「北海道道路メンテナンス会議」とは...  
道路法第28条の2の規定に基づき、北海道内の道路管理を効果的に行うため、各道路管理者が相互に連絡調整及び協議を行うことにより、円滑な道路管理の促進を図ることを目的にH26に設立。  
北海道開発局、北海道、札幌市、東日本高速道路(株)北海道支社により構成されている。

## 受講者からの声

■改訂されたばかりの、点検要領についてお話を伺えたので、非常に興味深かったです。別紙の記載方法等、今後、検討が必要な状況ですが、今回の講習会で得られた情報を業務に反映していければと考えております。

■人材不足の観点から、近年、活用され始めているドローン点検はとても有効であると思いますが、その精度が気になりました。診断報告について写真でも劣化度が十分に伝わりましたが、やはり、現地で実際に目視点検することの重要性を改めて感じました。自社以外が点検した構造物を見学できる貴重な講習会だと思いましたので、今後も各社のスキルアップのため、現地講習会開催を継続していただきたいと思います。

■実際の桁下の点検作業状況がイメージできてとても良いやり方だと思いました。

■役場の方との質疑応答の内容を聞くことができ、参考になりました。